



平成27年 3月 4日

午前・後11時40分受領

平成27年 3月 4日

南山城村議会議長 新田 晴美 様

南山城村議会議員 橋本 洋一



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 人口減少に対応し、村の活性化を図る施策について	<p>増田氏が「自治体消滅論」を唱えてからまもなく一年、村の人口は2950人を切り、26年度新生児の数はわずか3人。</p> <p>増田理論は真実味を帯びているように見えるが決してそうではない。人口減の真因は若者の非正規職員化や貧困化、東京一極集中を招いたグローバル経済を促進した政治にあり、その矛盾を「地方創生」のかけ声で道州制導入により自治体再編を図ろうとするところに狙いがあると考え。</p> <p>1 村長の施政方針を読んだが国と府の方針待ちで具体性に欠ける。村の人口減対策を本気で進めようとしているのか疑いたくなる。考えを問う。</p> <p>2 第4次総計の具体計画が示されていない。方針・計画(戦略)を立てるために対策会議の設置や議会・住民の声を聞く考えはないのか。役場だけですか。</p> <p>3 施政方針で「本格化する道の駅整備事業の円滑な進捗のため」に「村づくり推進課」を設置すると言うが、課の人員と具体的仕事内容について説明を求める。</p> <p>現在産業生活課にある「魅力ある村づくり推進室」はどうなるのか。</p>	村長
2 高齢者福祉施設の整備について	<p>第7次高齢者福祉計画策定委員会の検討も終わった。答申では、「今期計画中に整備されるよう具体的に進められたい。」と整備促進を促している。この答申をどう受け止めるのか。</p> <p>住民はこの間の議会と村長のやりとりを怒りと不安とあきれ顔で見ている。「政治は高齢者の願いに応えてくれないのか。村長も議会も何をしているのか」と政治不信になっている方もある。</p> <p>用地買収交渉はどうなったのか。つくる気はあるのか。今こそ建設を明言し、政治不信を払拭しようではないか。</p>	村長

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載して下さい。(議員必携150ページ参照)
 2 質問の相手は、村長、行政委員会の長又は監査委員とします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3 医療・介護・子育て政策について	<p>村長は施政方針で、「国は消費税増収分を活用して子育て支援・医療・介護の充実、利用者負担の軽減するために96兆の27年度予算を組んだ」と評価している。</p> <p>景気回復が地方に及んでいない中で ①消費税3%増 ②介護保険料(8410円~70480円増) ③医療費窓口支払い(2~3倍に)等大幅な負担増となっている。</p> <p>1 この現実を村長としてどうとらえているか。 2 どうする対処するのか 3 高校卒までの医療費無料化、保育料・学童保育料の減額、給食費の減額等子育て支援できないか。</p>	村長